

とまちゃん通信

角ともこ県議会レポート 2014.11 November vol.30-2

だれもが暮らしやすい地域づくり

9月11日から10月10日まで

発達障がい児への

教育指導体制について

定例議会が開かれ、知事から提案のあった委員会委員選任同意案や補正予算案など30件、議員提出のがん対策条例一部改正案などの6件、すべてを可決しました。

今回も一般質問に立ちましたので、概要を報告します。

私立高校へ進学した発達障がいのあるお子さんをお持ちの母さんから、先生の発達障がいへの理解がなく、子どもが落ち込んでいるという話を聞きました。そこで、障がいがある生徒への指導に関する取り組みについて聞き

一層進むよう、今後も県教育委員会との連携を深め、私立学校の独自の研修の充実や県教育委員会の研修への参加などを促していく。

あいサポート運動で

誰もが暮らしやすい地域に

あいサポート運動は、様々な障がいの特性や障がいのある方が困っていること、そしてそれぞれに必要な配慮を理解し、日常生活でちよつとした配慮を実践していくあいサポーターの活動を通じて、誰もが暮らしやすい地域社会（共生社会）をみんなで作っていく運動です。

成熟社会においては、医療・福祉、環境などの分野に重点を置いた取り組みが、今後の社会の発展の鍵だともいわれていますが、知事の考えを聞きました。

人口減少問題の解決に

どう取り組むのか

することで、講演会や説明会などを行っており、こうした取り組みを続けながら、県民の皆様にあいサポート運動に対する理解を深めていきたい。



教育長 公立学校の全ての教員を対象に、初任者、経験者研修の中で特別支援教育に関する研修も実施している。各学校からの派遣要請に応じ、全教職員を対象に研修を行っている。

総務部長 私立学校での発達障がい児への理解がより

知事 県ではあいサポーターの養成を行う際に、障がいごとに異なる特性や、それに必要な支援、配慮などを学ぶ機会を提供

従来よりももっと強化していく、集中していく、これは大事なことだと考えている。

角とまごい

これまでの取り組み



県議会議員となつて7年余り、この間に取り組んできた角ともこの活動を報告します。

未来に夢膨らむ子どもたちのために

県議会議員として取り組んできた大きな課題のひとつに、子どもを取り巻く環境の改善があります。いじめや不登校、児童虐待など子どもが抱える問題は様々にあり、早い段階で対処しないと深刻な問題に発展する危険性もあり、対策を求めてとり上げてきました。

ネット依存で子どもが危ない

インターネット急速な普及、ケイタイ・スマホの利用の拡大は小さな子どもたちまで及び、近年その利用による発達、成長への影響、さらにはネットを通じたいじめや援助交際など深刻な問題に発展するものもあり、早急な対策が求められています。この問題を質問で取り上げ、学校や家庭、地域、さらに

は社会全体での取り組みや啓発など対策を求めてきました。生徒がネットの問題など調べ、それを先輩などに教えていくことなど取り組みが広がってきています。



子どもの心の問題に寄り添う

いじめが原因で不登校になったり、成人しても引きこもりになっていく問題もあり、子どもたちが抱える悩みや不安などへの対応として、学校の相談体制の充実や、地域や行政など社会全体の支援の体制づくり

を求めて再三質問に取り上げてきました。スクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカー、子どもと親の相談員の配置など支援体制が整いつつあります。

子どもを育む環境の整備

少人数学級の拡大、市民性を育む教育の実施、高校芸術科特に書道教諭の確保など、教育の充実に向けて質問に取り上げてきました。これらの課題の解決に前進しつつあります。

また、「情緒障害児治療施設」の早期の設置を取り上げた結果、「児童心理療育センターみらい」が設置されました。



県外調査で特別支援学校を見学

誰もが笑顔で暮らせるしまねづくり

エネルギーのベストミックスは

本年2月議会に、8万人以上の署名を集めて「島根県エネルギー自立地域推進基本条例」制定の県民請求がありました。この採択に取組みましたが、残念ながら否決となりました。原発に頼らない社会の実現には、再生エネルギーの活用を進め、地域にとってベストミックスのエネルギー供給体制をつくっていくことです。

ワークライフバランスの推進

職場における仕事の質の向上と環境の改善を行い、ゆとりある仕事と生活を楽しむ生活環境を作るため、ワークライフバランスの取り組みを求めてきました。

公共事業入札参加資格の加算項目に「しまね子育て応援企業（こっころカンパニー）」を加えることを提案、県の土木関連入札に取り入れられ、これを契機に「こっころカンパニー」は223社にまで増えました。



医療職の皆さんと意見交換

安心の地域医療の確保に

安心して医療がうけられる地域にするには、医療従事者の確保が大きな課題です。

特に看護師確保については、県内就職を促す一つ的手段として、修学資金の貸し付けの充実や利用されやすい修学資金にするなど見直しに取組みました。また、離職を防ぐ取り組みとして、処遇改善など職場環境改善の取組みとして、医療クレークの導入支援のさらなる充実や(仮)医療勤務環境改善支援センター事業に早急に取組むことを求めています。